

入 札 公 告(入札後審査型・個別事項)

下記の建設工事について、制限付き一般競争入札(入札後審査型)を行うので公告する。この工事の入札執行等については、関係法令に定めるもののほか、本公告及び入札公告(入札後審査型・共通事項)(以下「共通事項」という。)により行うものとする。

この入札は、静岡県電子入札システムにより執行する。

- 1-1 公告日 平成30年2月5日(月)
 1-2 入札執行者 静岡県道路公社 理事長 矢野 弘典
 1-3 この入札に関する契約条項を示す場所及び事務を担当する機関(以下「契約条項を示す場所」という。)
 〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル10階
 静岡県道路公社総務部総務課 電話 054-254-3421
 E-mail : siz-road@po3.across.or.jp

1-4 工事内容等

入札番号	第22号
工事名	平成29年度 伊豆スカイライン 橋梁架替工事(十国橋)に伴う既設橋撤去及び橋梁下部工工事
工事場所	田方郡函南町桑原 地内
工事概要等	十国橋架替 橋梁下部工【躯体工(A1. A2) 1式、基礎工 12本、仮設工 1式】 旧橋撤去工【主桁・斜材撤去工 1式、橋台撤去工 1式、仮設工 1式】
工 期	平成31年3月25日限り
使用する主要な資機材	—

1-5 入札に参加する者に必要な資格に関する事項

静岡県における建設工事競争入札参加資格の認定を受けている者のうち、次に掲げる条件をすべて満足していることについての確認を受けた者であること。

条 件	左記の詳細
(1) 静岡県建設工事競争入札参加資格の認定業種	土木一式工事にかかる認定を受け、A等級に格付されたもの。
(2) 許可の種類	土木工事業に係る特定建設業の許可を受けたもの。
(3) 経営事項審査の総合評定値	条件としない
(4) 入札参加資格条件における営業所の所在地	建設業法(昭和24年法律第100号)第3条第1項に規定する主たる営業所が沼津土木事務所、熱海土木事務所、下田土木事務所及び富士土木事務所管内にあり、当該営業所が土木工事業の静岡県建設工事の競争入札参加資格を有していること(当該業種の入札及び請負契約に関する権限等の委任を受けていること)。
(5) 入札参加資格条件における同種工事の施工実績	平成14年4月1日以降(完成し引渡し済みのもの)に、国、地方公共団体、特殊法人(特殊法人とは、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施行令第1条」に定める法人とする。)又は道路公社が発注した、コンクリート橋の撤去工事及び杭基礎を含む橋梁下部工工事を元請として施工した実績を有すること。(コンクリート橋の撤去工事と杭基礎を含む橋梁下部工工事は同一工事であることを問わない。)ただし、共同企業体の構成員としての施工実績は、出資比率が20パーセント以上の場合のものに限る。なお、静岡県又は当公社発注工事での施工実績に係る工事成績評定が64点以下の場合には、参加資格条件における同種工事の施工

	<p>実績として認めない。</p> <p>○参加資格条件における同種工事の施工実績を確認できる以下の書類を入札後に提出する入札参加資格確認資料(以下「資格確認資料」という。)に添付すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札公告「共通事項」2-2 に記載されているもの ・当該工事の概要が記された設計図書の写し等(必要な場合)
(6) 入札参加資格条件における、右に掲げる基準を満たす主任技術者又は監理技術者を当該工事に(専任で)配置できること。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成14年4月1日以降(完成し引渡しが済んでいるもの)に、1-5(5)の工事と同種の工事の施工経験を有する者。 ・入札執行日以前に3か月以上の雇用関係があること(専任の技術者を条件とする場合、専任の技術者は請負金額3,500万円(建築一式工事は7,000万円)以上の場合必要。なお、専任の技術者のうち主任技術者にあつては、適正な施工が確保されつつ一定の要件を満たす場合、発注者の判断により、他工事の主任技術者(専任も含む)との兼務が可能となる場合がある。(以下、本公告及び入札公告「共通事項」において同じ。)) ・監理技術者資格者証(とび土工)の交付を受けている者で監理技術者講習を受講した者(下請契約の合計が4,000万円(建築一式工事の場合は6,000万円)以上の場合には監理技術者を条件とする) ・配置予定技術者は、据付現場での監理(又は主任)技術者とする。(工場製作がある場合) ・営業所の専任技術者ではないこと <p>○参加資格条件における同種工事の施工経験をj確認できる以下の書類を添付すること。(施工経験を条件とする場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札公告「共通事項」2-2 に記載されているもの ・当該工事の概要が記された設計図書の写し等(必要な場合)
(7) 技術者の専任を要する工事においては、右に掲げる基準により専任できること。	1-6の入札日程に記載する開札日の翌日から起算して20日目から専任で配置できること。(土曜日、日曜日及び祝日を含む。)
(8) 右に掲げる設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと	<p><設計業務等の受託者> 三島市多呂128番地、静岡コンサルタント株式会社</p> <p><当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者></p> <p>ア 当該受託者の発行済株式総数の100分の50を超える株式を有し、又はその出資の総額の100分の50を超える出資をしている建設業者</p> <p>イ 建設業者の代表権を有する役員が当該受託者の代表権を有する役員を兼ねている場合における当該建設業者</p>
(9) その他の条件	入札公告「共通事項」2-1 に記載のとおり

1-6 入札日程

入札前の資格確認申請書	<p>公告の日の翌日から平成30年2月14日(水)まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く)</p> <p><電子入札システムの場合> 午前9時から午後4時まで</p> <p><持参の場合> 午前9時から午後4時まで(資格確認申請書及び資格確認資料は、各2部(正本1部、副本1部)及び長3号封筒(簡易書留料金を含む切手392円貼付)を併せて契約条項を示す場所に持参)</p>	入札公告「共通事項」2-2
-------------	--	---------------

	※ 提出資料については、入札公告「共通事項」参照	
入札参加資格の確認通知	平成30年2月15日(木)までに電子入札システムにより通知する (持参の場合は郵送により通知する)	
入札前の参加資格確認で入札参加資格がないと認められた者の請求期限	通知を受けた日から平成30年2月22日(木)まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く) <電子入札システムの場合> 午前9時から午後4時まで ※電子入札システムの場合は、送信後に静岡県道路公社総務部総務課まで電話連絡を行うこと。(Tel:054-254-3421) <持参の場合> 午前9時から午後4時まで(契約条項を示す場所)	入札公告「共通事項」2-4
上記の回答期限	平成30年3月1日(木)まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く)	入札公告「共通事項」2-4
設計書及び図面(以下「設計図書等」という。)の交付	平成30年2月5日(水)から平成30年3月7日(水)まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く) 金抜き設計書及び特記仕様書等 (PPI又は当会社ホームページに掲載する。) 図面 (PPI又は当会社ホームページに掲載及び1-9に示す方法により交付)	入札公告「共通事項」2-3
図面の縦覧(貸出)期間	公告の日の翌日から平成30年3月7日(水)まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く)の午前9時から午後4時まで	入札公告「共通事項」2-3
設計図書等に対する質問受付期間	公告の日の翌日から平成30年2月15日(木)まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く) <電子入札システムの場合> 期間内の午前9時から午後4時まで <持参の場合> 期間内の午前9時から午後4時まで	入札公告「共通事項」2-3
上記の回答書縦覧等の期間	平成30年2月23日(金)から平成30年2月27日(火)まで	入札公告「共通事項」2-3
入札書等受付期間 入札書等の提出	<電子入札システムの場合> 平成30年3月6日(火)から平成30年3月7日(水)まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く) 期間内の午前9時から午後4時まで <持参の場合> 開札日時に契約条項を示す場所に以下の書類を提出すること。 ・入札書、委任状(代理人の場合)、入札参加資格確認通知書、 入札価格(工事費)内訳表及び工事費積算資料	入札公告「共通事項」2-5
入札価格(工事費)内訳書	工事の入札における全ての入札参加者は、入札書と同時に提出しなければならない。 また、入札後12か月以内に、執行機関の必要に応じ、より詳細な項目を記載した内訳書を提出する。	入札公告「共通事項」2-6
開札日時	平成30年3月8日(木) 午後1時00分	入札公告「共通事項」2-7
入札後に行う資格確認資料の提出	開札の日から平成30年3月12日(月)まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く)(次順位者以降の者の期日は別途指示する。)	入札公告「共通事項」2-2

	<電子入札システムの場合> 午前9時から午後4時まで ※電子入札システムの場合は、送信後に静岡県道路公社総務課まで電話連絡を行うこと。(Tel:054-254-3421) <持参の場合> 午前9時から午後4時まで(契約条項を示す場所)	
入札後の参加資格確認で資格がないと認められた者の請求期限	通知を受けた日から平成30年3月13日(火)まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く)(次順位者以降の者の期日は別途指示する。) 午前9時から午後4時まで(契約条項を示す場所に提出すること。)	入札公告「共通事項」2-4
上記の回答期限	平成30年3月20日(火)まで(土曜日、日曜日及び祝日を除く)	入札公告「共通事項」2-4

※ 紙による申請等は発注機関の承認が必要

1-9 設計図書等の交付方法

1 設計図書等の交付 ・原則PPIにより交付する。 2 設計図書等の縦覧・貸出 ・契約条項を示す場所で縦覧・貸出を行う。

1-10 設計図書等に関する質問に対する回答

電子入札システムに回答を記載する。 <縦覧の場合> ・契約条項を示す場所で縦覧を行う。

1-11 その他

調査基準価格の設定	調査基準価格の設定 有 調査基準価格及び契約しない基準値の補正 無
前払金	請負代金の60%以内(ただし中間前払金20%を含む)
部分払	請負代金が100万円以上2,000万円未満は2回以内、2,000万円以上5,000万円未満は3回以内、5,000万円以上は4回以内とする。
契約書作成	要
工程表の提出	要
工事工程月報	要
ISOを活用した監督業務	適用可
現場代理人及び技術者の氏名の通知	書面
火災保険付保の要否	否
当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を当該工事の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無	無

入 札 公 告
(入札後審査型・共通事項)

2-1 入札に参加する者に必要な資格に関する事項

静岡県における建設工事競争入札参加資格の認定を受けている者のうち、次に掲げる条件をすべて満たしていること。

地方自治法施行令(昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。)第167条の4の規定に該当しないこと。
静岡県における建設工事競争入札参加資格の認定を受けていること。(認定業種は入札公告(総合評価落札方式(簡易型Ⅱ事後確認型)入札後審査型・個別事項)(以下「個別事項」という。)に記載)
建設業法(昭和24年法律第100号)第3条の規定に基づく許可を受けている者であること。(許可の種類は入札公告「個別事項」に記載)
入札参加資格確認申請書(入札後審査様式第2号、以下「資格確認申請書」という。)の提出期限の日から落札決定までの期間に、静岡県工事請負契約等に係る入札参加停止等措置要綱(平成元年8月29日付け管第324号)に基づく入札参加停止を受けていないこと。
静岡県発注公共工事暴力団排除措置要領(平成5年8月1日施行)に基づき、指名からの排除措置を受けていないこと。
会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続開始の申立てがなされている者(更生手続開始の決定を受けている者を除く。)又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続開始の申立てがなされている者(再生手続開始の決定を受けている者を除く。)でないこと。

2-2 入札参加資格の確認

- (1) この入札の参加希望者は、資格確認申請書を作成のうえ提出し、入札参加資格の確認を受けなければならない。また開札の結果、落札候補者になった者は、入札後に、入札参加資格確認資料(以下「資格確認資料」という。)を提出し、入札参加資格の詳細な確認を受けなければならない。
- (2) 資格確認申請書、資格確認資料(添付資料含む)の提出は、原則静岡県電子入札システムによる電送とするが、電子ファイルの容量により電送できない場合や紙媒体による提出について発注者の承諾(紙入札方式参加申請書(静岡県公共事業電子入札運用基準 様式4)を提出)を得た場合は、持参することができる。
- (3) 入札参加資格の確認等

ア 入札参加資格確認基準日	資格確認申請書の提出期限の日
イ 資格確認申請書	入札後審査様式第2号
ウ 入札前に行う入札参加資格の確認	提出期限までに資格確認申請書を提出しない者又は入札参加資格がないと認められた者は、本入札に参加することができない。
エ 入札後に行う入札参加資格の詳細な確認	落札候補となった者は、指定する期日までに以下の資格確認資料(添付資料含む)を作成の上、指定する日時までに契約条項を示す場所へ提出すること。 (ア)様式第3号 同種工事の施工実績(入札参加条件の場合) (イ)様式第4号 配置予定技術者等の資格・工事経験 (ウ)様式第5号 許可等の状況
カ 入札参加資格条件における同種工事の施工実績の確認(参加条件の場合)	○入札参加資格条件における同種工事の施工実績を確認できる以下の書類を添付すること。 ・入札参加資格条件における同種工事の施工実績として記載した工事に係る契約書の写し(ただし、当該工事が、一般財団法人日本建設情報総合センターの「工事实績情報システム(CORINS)」に登録されている工事の場合は、様式第3号に登録済みであることを明記した上で、契約書の写しを省略することができる。)又は工事カルテ(CORINS)の写し等

	<p>(上記に加え、当該工事の概要が記された設計図書の写し等が必要な場合は、入札公告「個別事項」1-5に記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加資格条件における同種工事の施工実績が静岡県道路公社又は静岡県発注のものである場合は、工事成績評定点が記載されている通知書の写し(完成検査合格通知書等)
<p>ケ 入札参加資格条件における配置予定技術者等の資格・施工経験の確認(施工経験は入札参加条件とする場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○様式第4号に1-5に掲げる資格があることを的確に判断できる配置予定の技術者の入札参加資格条件における資格及び同種の施工経験を記載すること。この場合、配置予定の技術者として複数の候補技術者を記載することができる。また、他の工事に配置されている技術者が、従事している工事の完成等により本工事に確実に配置できる見込みがある場合は、当該技術者を配置予定技術者として記載することができる。 ○専任を要する工事における配置予定技術者の専任を開始する日は、現場施工に着手する日が確定している場合は、明示された当該日から専任で配置できることを条件とし、現場施工に着手する日が確定していない場合は、開札日の翌日から起算して20日目(土曜日、日曜日及び祝日を含む。)から専任で配置できることを条件とする。専任の終了する日は完成検査終了日とし、修補等がなく、現場における検査が終了することを条件とする。 ○専任を開始する日に、申請のあった配置予定技術者を配置できない場合やCORINS等により配置予定の技術者の専任義務違反の事実が確認された場合は、原則、契約しない、又は契約を解除する。契約前にあっては、入札保証金に相当する額を、契約後にあっては、契約保証金に相当する額を違約金として支払わなければならない。これらの場合、静岡県道路公社は一切の損害賠償の責を負わない。 ○他の工事を落札したことにより配置予定の技術者を配置することができないにもかかわらず入札した場合や、従事している工事の未完成等により技術者が配置できないにもかかわらず入札した場合は、静岡県工事請負契約等に係る入札参加停止等措置要綱(平成元年8月29日付け管第324号)に基づく入札参加停止を行う場合がある。 ○配置予定技術者の資格、雇用関係を証するものとして以下の書類を添付すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・法令による免許については、免許を証する書面の写し また、配置予定技術者が営業所の専任技術者でないことを証する書類(建設業の許可申請書の様式八号(1)又は(2)の写し) ・当該技術者との雇用関係を証する書面(健康保険被保険者証、市区町村が作成する住民税特別徴収税額通知書等自社と直接的かつ恒常的な雇用関係にあることを証明するもの)の写し ・監理技術者資格者証の写し及び「監理技術者講習修了証」の写し ○入札参加資格条件における同種工事の施工経験を確認できる以下の書類を添付すること。(入札参加条件の場合) <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加資格条件における同種工事の施工経験として記載した工事に係る契約書の写し(ただし、当該工事が、一般財団法人日本建設情報総合センターの「工事成績情報システム(CORINS)」に登録されている工事の場合は、様式第4号に登録済みであることを明記した上で、契約書の写しを省略することができる。)又は工事カルテ(CORINS)の写し等(上記に加え、当該工事の概要が記された設計図書の写し等が必要な場合は、入札公告「個別事項」1-5に記載) ・入札参加資格条件における同種工事の施工経験が静岡県道路公社又は

	静岡県発注のものである場合は、工事成績評定点が記載されている通知書の写し(完成検査合格通知書等)
コ 許可等の状況	様式第5号に建設業許可の状況及び経営事項審査の結果(並びに営業所の状況 [県内に営業所があることを条件とする場合])を記載すること。
サ 許可通知書の写し	建設業法第3条に規定する許可の通知書の写し(資格確認申請書提出日時点において許可の有効期間開始日が到来しているもの)(及び受付印のある建設業の許可申請書の様式第1号及び別紙又は様式第22号の2の写し等、静岡県内に営業所があることを証する書類 [県内に営業所があることを参加資格条件とする場合])を提出
シ 入札参加資格	有効な「建設工事競争入札参加資格の審査結果」通知の写し
ス 経営事項審査結果通知書の写し	建設業法27条の29第1項に規定する総合評定値通知書(審査基準日が入札日より1年7か月以内のもの)の写し

- ・資格確認申請書、資格確認資料(添付資料含む)及び申込に係る費用は、提出者の負担とする。
- ・入札執行者は、提出された資格確認申請書、資格確認資料(添付資料含む)を入札参加資格の確認以外に、提出者に無断で使用しない。
- ・提出期限後における資格確認申請書、資格確認資料(添付資料含む)の差し替え及び再提出は認めない。
- ・提出された資格確認申請書、資格確認資料(添付資料含む)は、返却しない。
- ・提出された資格確認申請書、資格確認資料(添付資料含む)は、公表しない。
- ・資格確認申請書、資格確認資料(添付資料含む)に用いる言語は日本語とする。

2-3 設計図書等について

交付等の方法	入札公告「個別事項」に記載
質問	電子入札システムとする。やむを得ない場合のみ書面持参(様式自由)とする。
質問に対する回答	電送又は書面により回答し、書面の場合は契約条項を示す場所で縦覧する。

2-4 入札前の参加資格確認において、入札参加資格がないと認められた者に対する理由の説明

入札参加資格がないと認められた者は、入札執行者に対して入札参加資格がないと認めた理由について、説明を求めることができる。

入札参加資格がないと認められた者の請求方法等	電送又は契約条項を示す場所へ書面持参(様式自由)とする。
発注者の回答方法	契約条項を示す場所で書面により回答する。

2-5 入札執行の場所等

入札の場所	契約条項を示す場所
入札の方法	電子入札システムによる。ただし、やむを得ない場合で発注機関の承認を得たときは書面を持参して入札できる。 <電子入札システムによる場合> 電子入札システムにより入札書・入札価格(工事費)内訳書を提出すること。 <持参による場合> 事前に発注機関の承認を得て、開札日時に契約条項を示す場所に以下の書類を提出すること。 ・入札書、委任状(代理人の場合)、入札参加資格確認通知書、入札価格(工事費)内訳書を提出すること。
その他注意事項	①郵送による入札は認めない。 ②持参による場合、入札書、入札参加資格があることが確認された旨の通知書の写し及び入札価格(工事費)内訳書を提出すること。なお、代理人が入札す

	<p>る場合には、入札前に委任状を提出しなければならない。</p> <p>③落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。</p> <p>④入札執行回数は、2回を限度とする。</p>
--	---

2-6 入札価格(工事費)内訳書

第1回の入札に際し、第1回の入札書に記載される入札金額に対応した入札価格(工事費)内訳書の提出を求める。

受付	<p><電子入札システムによる場合> 入札書等受付期間に準じる。</p> <p><持参による場合> 入札書の提出に準じる。</p>
様式	様式第9号
取扱い	入札価格(工事費)内訳書は、入札書の添付書類とし、不備がある場合は入札を無効とする場合がある。

2-7 開札等

開札	契約条項を示す場所において、入札事務に関係のない公社職員を立ち合わせて行うか、入札者又はその代理人を立ち合わせて行う。
落札者の決定方法	<p>①地方自治法(昭和22年法律第67号)第234条第3項及び施行令第167条の10第1項の規定により予定価格の制限の範囲内で最低の価格(最低制限価格を設定した工事にあつては、最低制限価格以上の価格)をもって有効な入札を行った入札者を落札候補者とする。調査基準価格を設定した工事にあつては、入札価格が「調査基準価格」を下回った場合には、低入札価格調査の結果、当該入札価格で契約内容に適合した履行が可能と判断された場合に当該入札者を落札候補者とする。</p> <p>なお、入札価格が「静岡県低入札価格調査制度による調査実施要領」第11条の「契約しない数値基準」未満の場合は、当該入札を無効とする。</p> <p>②入札後に落札候補者から提出された入札参加資格確認資料を審査し、その結果、参加資格要件を満たしていると確認した場合は、当該落札候補者を落札者として決定する。参加資格要件を満たしていないと確認した場合は、当該落札候補者が行った入札を無効とした上で、次順位者を落札候補者とし、入札参加資格確認資料の提出を求める。なお、落札者が決定するまで順次同様の手続きを行うものとする。</p>
入札の無効	<p>○本公告に示した入札に参加する者に必要な資格のない者及び虚偽の申請を行った者のした入札並びに建設工事等競争契約入札心得(以下「入札心得」という。)及び(現場説明、[現場説明を行う場合])現場説明書において示した条件等入札に関する条件に違反した入札並びに当該工事の入札価格(工事費)内訳書に不備があるときは、当該入札を無効とする。また、低入札価格調査に協力しないことにより無効とする場合がある。</p> <p>○低入札価格調査の対象者が、開札後速やかになされる当該調査の実施に係る意思確認に対し、応じられない旨の意思表示をした場合には、建設工事等競争契約入札心得第13条第2項に違反するものであり、入札に関する条件に違反した入札として当該入札を無効とする。</p>

	<p>○入札価格が「調査基準価格」を下回った場合には、低入札価格調査の結果、当該入札価格で契約内容に適合した履行が可能と判断された場合に当該入札者を落札者とするが、入札価格が「静岡県低入札価格調査制度実施要領」第11条の「契約しない場合の判断基準」に該当する場合は、当該入札を無効とする。</p> <p>○入札参加資格のある旨を確認された者であっても、入札後に行う入札参加資格の詳細な確認において入札参加資格がないと確認された者や、落札候補者が入札日以降落札決定までの間に、静岡県工事請負契約等に係る入札参加停止等措置要綱(平成元年8月29日付け管第324号)に基づく入札参加停止を受けた場合には、当該落札候補者の下入札は無効とする。</p>
--	---

2-8 落札者とならなかった者への理由の説明

落札者とならなかった者は、入札執行者に対して自らが落札者とならなかった理由について、説明を求めることができる。

落札者とならなかった者の請求方法等	契約条項を示す場所へ書面持参(様式自由)とする。
発注者の回答方法	契約条項を示す場所で書面により回答する。

2-9 不落随契

再度の入札において落札者がいない場合の随意契約への移行基準等は次のとおりとする。

移行基準	再度の入札(2回目の入札)を行った結果、落札者がいない場合において、最低価格と予定価格との差額が予定価格の5%以下であるときは不落随契に移行する。
見積書を徴する者	再度の入札(2回目の入札)で有効な入札を行なった者のうち、入札価格と予定価格との差額が予定価格の5%以下で、最高評価値であった者から見積書を徴する。

2-10 その他

入札保証金及び契約保証金	<p>①入札保証金 免除。</p> <p>②契約保証金 納付(契約金額の100分の10(低入札価格調査を受けて落札した者にあつては100分の30)以上)。ただし、利付国債若しくは地方債の提供又は金融機関若しくは保証事業会社の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。</p>
契約書の作成	①契約の締結に当たっては、契約書を作成しなければならない。
暴力団員等又は暴力団関係業者による不当介入を受けた場合の措置	<p>①本工事の受注者は暴力団員等又は暴力団関係業者による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>②①により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。</p> <p>③受注者は暴力団員等又は暴力団関係業者により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。</p> <p>※不当介入を受けたにもかかわらず警察及び発注者への通報(報告)等を怠</p>

	<p>った場合は、静岡県工事請負契約等に係る入札参加停止等措置要綱(平成元年8月29日付け管第324号)に基づく入札参加停止の措置を受けることがある。</p>
<p>その他</p>	<p>①静岡県公共事業電子入札運用基準に基づき入札に参加すること。なお、代表者が変更となっているにもかかわらず、変更前の代表者のICカードを使用して入札に参加し、又は参加しようとした場合等、ICカードの不正使用が確認された場合には、静岡県工事請負契約等に係る入札参加停止等措置要綱に基づく入札参加停止を行うことがある。</p> <p>また、契約後にICカードの不正使用が確認された場合には、契約解除を行うことがある。</p> <p>②電子入札システムの障害等やむを得ない事情がある場合、紙入札に変更する場合がある。</p> <p>③入札参加者は、入札心得及び契約書案を熟読し、入札心得を遵守すること。</p> <p>④落札者は、様式第4号に記載した配置予定技術者を、当該工事の現場に専任で配置すること。(専任の配置技術者が必要な工事の場合)</p> <p>⑤契約書案、契約約款、入札心得、仕様書及び現場説明書は、契約条項を示す場所で縦覧するものとする。</p> <p>⑥契約手続きにおいて使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。</p> <p>⑦資格確認申請書、資格確認資料(添付資料含む)に虚偽の記載をした場合においては、静岡県工事請負契約等に係る入札参加停止等措置要綱(平成元年8月29日付け管第324号)に基づく入札参加停止を行うことがある。</p> <p>⑧1-5に掲げる競争入札参加資格の認定を受けていない者も資格確認申請書、資格確認資料(添付資料含む)を提出することができるが、競争に参加するためには、当該資格の確認を受け、かつ、競争入札参加資格の認定を受けなければならない。</p> <p>⑨低入札価格調査制度については、「静岡県低入札価格調査制度実施要領」及び「静岡県低入札価格調査制度実施要領の運用」によるので、別途ホームページ等で確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査を受けて落札した者にあつては、配置予定の主任技術者(監理技術者)とは別に、建設業法(昭和24年法律第100号)第26条第1項に規定する者と同等以上の技術者(以下「補助技術者」という。)を専任で1名現場に配置しなければならない。この場合において、主任技術者(監理技術者)及び補助技術者は、現場代理人と兼ねることができない。 ・低入札価格調査を受けて落札した者の契約保証金の取扱いについては、本公告「2-10 その他 入札保証金及び契約保証金②」参照。 <p>⑩落札決定後に静岡県工事請負契約等に係る入札参加停止措置要綱(平成元年8月29日付け管第324号)に基づく入札参加停止措置があつた場合の取扱いについては、以下のとおりとする。</p> <p>ア 落札決定後から契約締結までの間に落札者が静岡県から入札参加停止措置を受けたときは、当該落札決定を取り消すことがある。</p> <p>イ アにより契約を締結しない取扱いとした場合については、当公社は一切の損害賠償の責めを負わないものとする。</p> <p>⑪本工事の下請人については、静岡県内に建設業法(昭和24年法律第100号)に規定する主たる営業所を有する者の中から選定するよう努めること。</p>

	<p>(WTO 政府調達協定が適用される場合、⑪の事項は該当しない)</p> <p>⑫その他詳細不明の点については、契約条項を示す場所及び事務を担当する機関へ連絡すること。</p>
--	--